

艦載機F35配備 移駐の撤回を

米海兵隊岩国基地

日本共産党の大平喜信衆院議員が2月25日の予算委員会分科会で、米海兵隊岩国基地（山口県岩国市）への空母艦載機移駐とF35Bステルス戦闘機配備の撤回を求めました。

厚木基地（神奈川県）の空母艦載機移駐先として岩国基地を選んだ理由として「滑走路を約1キロ沖合へ移設することで騒音問題が大きく改善され、艦載機移駐後も、騒音の増加や生活環境が悪化することはない」と政府は強調してきました。大平議員は、滑走路移設が安全上、騒音上の問題を解決をする目的だったこと

日本共産党衆院議員（比例・中国）

が予算委員会で迫る



日本共産党

第190回通常国会の衆院予算委員会分科会で質問する大平喜信衆院議員
動画をご覧ください→



艦載機の機数・機種の変更に歯止めなし 運用しない

日の標準飛行回数が38回

ない」とただしました。

F/A18ホーネットから騒音の大きいスーパーホーネットへ、EA6BブラウラーがスーパーホーネットをベースにしたEA18Gグラウラーに替わって

9回から450回に増えること、飛行経路も米軍機が替わっていることを

と正式に合意したもので

認め「機数・機種は米軍の運用によって変更はある

Gグラウラーに替わってことや、想定する1

測より騒音が大きくなることや、想定する1

方向に変更されている。

これでは住民は納得できることや、想定する1

ことや、想定する1

明瞭になりました。

F35B 岩国配備しか考えられない 政府の「ごまかし」を批判

は「米海兵隊の航空機基地は、普天間（沖縄県宜野湾市）と岩国の二つ。

岩国基地への配備としか考えられない」とごまかしを批判しました。

低空飛行訓練やめよ

基地の強化許せない

F35Bステルス戦闘機の岩国配備について、岸田文雄外相が「2013年、2015年の2+2で、17年の日本配備は確認しているが、岩国基地に配備されるかどうかは決まっていない」と答えたのに対し、大平議員

さらに大平議員は、岩国基地から飛び立った軍用機が中国山地一帯で低空飛行訓練し騒音被害をまき散らしている実態を告発して「岩国基地の強化、艦載機移駐とF35配備は許されない」と強調しました。

住民の声を紹介し実態を告発

